

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 国際陶磁器フェスティバル美濃負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3785)

E-mail : c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 3,500 千円 (前年度予算額： 3,500 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	3,500	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,500	0	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入など、市場環境は極めて難しい状況下にあり、陶磁器文化、産業振興に寄与する施策が必要とされている。
- ・国際陶磁器フェスティバルは、地元4市（多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市）を中心となり3年に1度開催する国際的な陶磁器の祭典であり、「国際陶磁器展美濃」、「産業・文化・地域振興事業」の2事業を柱としている。
- ・第13回（令和6年度開催）では、メイン催事の「国際陶磁器展美濃」のほか、副催事では『美濃焼で魅せる』をコンセプトに「人」「花」「音」「食」の4つのテーマに沿った催事を行った。
- ・本イベントを主催する「国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会」に県も参画し、開催経費の一部（負担金）を負担することにより支援を行う。
- ・次回（令和9年度開催予定）に向け、国際陶磁器展美濃を世界を代表するコンペティションにするため、継続的な取組みが実施できるよう、国際的なプロモーションや受賞者支援を切れ目なく行う。

(2) 事業内容

○国際陶磁器展美濃

- ・受賞者支援（グランプリ、金賞受賞者等への活動支援）
- ・第14回国際陶磁器展美濃の開催に向けた準備
- ・第14回国際陶磁器展美濃作品募集開始

○産業・文化・地域振興事業

- ・開催事業の検討

○広告・宣伝事業

- ・第14回国際陶磁器展美濃の作品募集PR
- ・海外陶磁器産地との相互P R

(3) 県負担・補助率の考え方

			単位：千円
	第12回（H30-R3）	第13回（R4-R6）	第14回（R7-R9）
県	57,709,000	52,000,000	52,000,000
多治見市	72,606,834	65,708,333	65,860,333
瑞浪市	12,722,333	11,488,667	11,495,000
土岐市	19,818,333	17,803,000	17,644,667
可児市	5,643,500	5,000,000	5,000,000
計	168,500,000	152,000,000	152,000,000

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	3,500	実行委員会負担金
合計	3,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「岐阜県経済・雇用再生戦略」
- 5 県産品の世界展開プロジェクト
- (4) 地場産業の持続可能な発展に向けた支援

(2) 国・他県の状況

- ・地元が連携・協力して実施するイベントであり、県としても引き続き支援を行う。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・地元の主産業である陶磁器産業を支援するため、地元が中心となり実行委員会を組織し開催している。また、地元が過半の負担金を拠出し、民間の助成金等の活用も行われており妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「土と炎の国際交流」をメインテーマに、陶磁器のデザインと文化の国際的な交流を通じて、更なる陶磁器産業の発展と文化の高揚を目指す。

メインイベントである「国際陶磁器展美濃」は、国際的に認知された陶磁器コンペティションで、世界中の国と地域の作品が一堂に会す展覧会。そのほか、来場された方々が、美濃焼の歴史や魅力、地域の風土を存分に感じ、楽しむことができる、4市の陶磁器産業・文化・地域に密着した事業を多数開催。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①来館者数 (人)		14,034	—	—		

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	令和3年度に開催された第12回国際陶磁器展美濃の受賞者に対する支援を行うとともに、令和6年度に開催予定の国際陶磁器フェスティバル美濃'24の開催に向けた準備を行った。																																								
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %																																								
令和 5 年 度	令和3年度に開催された第12回国際陶磁器展美濃の受賞者に対する支援を行うとともに、令和6年度に開催予定の国際陶磁器フェスティバル美濃'24の開催に向けた準備を行った。																																								
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %																																								
令和 6 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ○会期：10月18日（金）～11月17日（日） 31日間 ○開催場所：セラミックパークMINO（多治見市東町） ○主催：国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会 (多治見市、瑞浪市、土岐市、地元商工会議所・商工会、陶磁器関連団体、岐阜県等で構成) ○来場者数：14,034人（R6.10.27時点暫定値） (国際陶磁器展美濃：4,441人、産業・文化・地域振興事業ほか：9,593人) ○事業の内容 <p>①国際陶磁器展美濃 世界4大コンペティションのひとつ。過去最多となる77の国と地域から、3,890作品の応募があった。本展示会では、入賞・入選した203作品を展示。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全体</th> <th colspan="3">陶芸部門</th> <th colspan="2">陶磁器デザイン部門</th> </tr> <tr> <th>陶芸部門</th> <th>ファクトリー分野</th> <th>スタジオ分野</th> <th>陶磁器デザイン部門</th> <th>陶磁器デザイン部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募作品</td> <td>3,890 (うち海外 2,779)</td> <td>3,115 (うち海外 2,245)</td> <td>61 (うち海外 21)</td> <td>714 (うち海外 513)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次審査通過作品</td> <td>673 (うち海外 439)</td> <td>403 (うち海外 271)</td> <td>45 (うち海外 10)</td> <td>225 (うち海外 158)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次審査通過作品</td> <td>218 (うち海外 134)</td> <td>141 (うち海外 90)</td> <td>22 (うち海外 3)</td> <td>55 (うち海外 41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最終審査対象作品 (未着・破損を除く)</td> <td>203 (うち海外 121)</td> <td>130 (うち海外 80)</td> <td>22 (うち海外 3)</td> <td>51 (うち海外 38)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②副催事：産業・文化・地域進行事業 『美濃焼で魅せる』をコンセプトに「人」「花」「音」「食」の4つのテーマに沿った催事を開催。</p>		全体	陶芸部門			陶磁器デザイン部門		陶芸部門	ファクトリー分野	スタジオ分野	陶磁器デザイン部門	陶磁器デザイン部門	応募作品	3,890 (うち海外 2,779)	3,115 (うち海外 2,245)	61 (うち海外 21)	714 (うち海外 513)			1次審査通過作品	673 (うち海外 439)	403 (うち海外 271)	45 (うち海外 10)	225 (うち海外 158)			2次審査通過作品	218 (うち海外 134)	141 (うち海外 90)	22 (うち海外 3)	55 (うち海外 41)			最終審査対象作品 (未着・破損を除く)	203 (うち海外 121)	130 (うち海外 80)	22 (うち海外 3)	51 (うち海外 38)		
	全体			陶芸部門			陶磁器デザイン部門																																		
		陶芸部門	ファクトリー分野	スタジオ分野	陶磁器デザイン部門	陶磁器デザイン部門																																			
応募作品	3,890 (うち海外 2,779)	3,115 (うち海外 2,245)	61 (うち海外 21)	714 (うち海外 513)																																					
1次審査通過作品	673 (うち海外 439)	403 (うち海外 271)	45 (うち海外 10)	225 (うち海外 158)																																					
2次審査通過作品	218 (うち海外 134)	141 (うち海外 90)	22 (うち海外 3)	55 (うち海外 41)																																					
最終審査対象作品 (未着・破損を除く)	203 (うち海外 121)	130 (うち海外 80)	22 (うち海外 3)	51 (うち海外 38)																																					
指標① 目標：15,000 実績：14,034人 達成率：93 %																																									

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	陶磁器をテーマとした世界最大級のイベントとして美濃焼産業の発展、陶磁器文化の振興に大きな役割を果たしている。地元が連携して実施するイベントであり、県の支援も妥当である。
-----------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	美濃焼やその産地の販路開拓・PRの有効な場となっている。また、地域の住民が、世界から応募された先鋭的な陶磁器作品に身近で触れることができ、非常に有効なイベントと言える。
-----------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 1	陶磁器フェスティバル開催期間中にその他のイベントを集中して開催することにより、イベント全体を効果的に連携させている。
-----------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

陶磁器フェスティバル開催後、その経験や実績を活かし、次につなげていく取組みが必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

地元の開催意識の高いイベントであり、県としても引き続き、陶磁器産業・産地の活性化のため支援していく。